

多監発第 18 号
令和 2 年 8 月 20 日

多良木町長 吉瀬 浩一郎 様

多良木町監査委員 牧 本 光 秋
多良木町監査委員 坂 口 幸 法

令和元年度多良木町上水道事業会計決算審査意見書の提出について
地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき、監査委員の審査に付された令和元
年度多良木町上水道事業会計決算について、別紙のとおり意見書を提出します。

令和元年度

多良木町上水道事業会計決算審査意見書

多良木町監査委員

令和元年度 多良木町上水道事業会計決算審査意見書

第1 審査概要

- 1 審査の期間 令和2年7月30日
- 2 実施審査 監査室(現地調査については、令和2年7月豪雨災害発生にとも
場 所 ない中止とした)
- 3 審査の概要

令和元年度多良木町上水道事業会計決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、貸借対照表、剰余金処分計算書、その他関係諸表の提示を求め、①決算書類が地方公営企業法等に準拠して作成されているか、②企業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか、③事業が地方公営企業法第3条に規定する「企業の経済性を発揮し公共の福祉を増進する」という原則に則り運営されているか等に審査の主眼をおいて実施した。

第2 審査の結果及び意見

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状態を概ね適正に表示しているものと認める。

2 事業収益について

ア 本年度の給水収益は148,039,979円で、前年度より1,210,064円の減となっている。

また給水戸数については前年度の3,578戸に対し本年度は3,568戸と10戸の減となっており、普及率についても計画給水人口10,465人に対し人口8,894人(前年度比△177人)であり、85.0%(前年度比△1.7%)となっている。

イ 年間営業収益は、148,550,606円(給水収益148,039,979円+その他の営業収益510,627円)で、営業外収益の受取利息21,240円、長期前受金戻入15,406,989円、雑収益1,251,291円を加えると165,230,126円が事業収益となり、対前年度の比較で3,136,439円の減となった。

3 事業費用について

営業費用は、144,139,277円(原水及び浄水費3,815,263円+配水及び給水費25,022,886円+総係費33,183,091円+減価償却費81,876,694円+資産減耗費241,243円)で、前年度より4,391,821円の増となっている。

これに営業外費用の支払利息9,436,005円及びその他営業外費用163,992円を加えると153,739,274円が事業費用となる。

前年度の事業費用150,799,568円に比べ2,939,706円の増となった。

(事業収益) - (事業費用) = (当年度純利益)
165,230,126円 - 153,739,274円 = 11,490,852円 ※ (損益計算書・・・別表1)

4 経営状況について

多良木町上水道事業の経済性を評定するため経営比率を算出すると次のようになっている。

比率名	算式	平成	平成	平成	平成	令和
		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
経営資本営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$	1.12	1.13	1.04	0.59	0.27
経営資本回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$	0.089	0.089	0.090	0.089	0.092
営業収益営業利益率 (%)	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$	12.6	12.7	11.6	6.7	3.0

この表から、上水道事業の経済性を総合的に表示する経営資本営業利益率は、営業利益が減少したことで、本年度は0.32%の減であった。

経営資本営業利益率は、経営資本回転率と営業収益営業利益率に分解することができるが、経営資本営業利益率が減であった要因は経営資本回転率が昨年度比微増の0.003に対し、営業収益営業利益率が前年度の6.7%から3.0%と3.7%と悪化したことにあることがわかる。なお、給水収益等の営業収益1,173千円の減収に対して、営業費用が4,392千円増額したことで、営業利益は前年度より減となった。

第3 決算の総括

日常業務の繁雑さにもかかわらず、経理事務は概ね適正、公正に処理がなされていた。

令和元年度の事業については別表1の損益計算書の通り、当該年度においては純利益11,491千円の決算となり、前年度の17,567千円と比較し6,076千円の減となっている。この減益の主な要因として、年間有収水量11,440 m³減等による営業収益1,173千円の減収に対し、営業費用の4,392千円の増額によるものである。1 m³当たりの給水収益は181.04円で、前年度に比べ1.04円増加している。また、給水原価は169.17円で、前年度に比べ6.62円増額している。この結果、当年度は1 m³当たりの給水収益が11.87円給水原価を上回ることとなった。

本町では、耐用年数超過の老朽管更新等の事業が令和2年度以降に急増する見込みであるので、管路情報を活用し、効率的な管路更新を計画されたい。その更新計画には適正な資金の確保が必要となるが、本町は少子高齢化傾向等から過去5年間の推移を見ても、使用水量及び給水収益はともに減少傾向にあり、今後も減少していくことが見込まれる。今後においても料金制度の最適化等財政面に注意を払いながら、水道事業の広域連携を含めた長期的な展望をもって良質で豊富な水資源の確保と将来も安定した水の利用と水質の保全に積極的に努められたい。

企業債については本年度も借入れを行わず44,844千円を償還し、年度末残高は278,151千円と順調に減額している。

営業未収金については前年度より268千円滞納額が増額している。担当職員も、滞納者より納付誓約書をとるなど努力をされているが、今後においては地方公営企業法第33条の2（公金の徴収又は収納の委託）の徴収方法についても積極的に検討されたい。

最後に例年の課題として提起しているが専門的知識を要する後継者の育成にも積極的に取り組まれ、本町の上水道事業がより一層、安定に繋がる事を望むとともに、令和2年7月豪雨災害により被災した水道施設の復旧に昼夜を問わず尽力された関係職員に敬意を表し、決算の総括とする。

- | | |
|---|--|
| 注 | <ol style="list-style-type: none">1 文中及び各表中の金額で、千円単位（単位未満は四捨五入）で表示していることがある。そのため差額また合計額が円単位での実施と一致しない場合がある。2 比率（％）については、原則として小数点以下第2位を四捨五入している。3 表中等の△印はマイナスを表す。 |
|---|--|

別表 1

(単位：円)

損益計算書 (税 抜)			
営業収益・営業外収益		営業費用・営業外費用	
1. 給水収益	148,039,979	1. 原水及び浄水費	3,815,263
2. 受託工事収益		2. 配水及び給水費	25,022,886
3. その他の営業収益	510,627	3. 受託工事費	
営業収益	148,550,606	4. 総係費	33,183,091
		5. 減価償却費	81,876,694
		6. 資産減耗費	241,343
		7. その他の営業費用	
		営業費用	144,139,277
1. 受取利息	21,240		
2. 長期前受金戻入	15,406,989		
3. 引当金戻入益		1. 支払利息	9,436,005
4. 雑収益	1,251,291	2. その他営業外費用	163,992
営業外収益	16,679,520	営業外費用	9,599,997
特別利益		特別損失	
合計	165,230,126	合計	153,739,274
当年度純利益			11,490,852 円

◎ 年度別単価及び事業量等の推移については次のとおりである。

(1) 年度別単価

単位：円/m³

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
供給単価 A	177.88	178.77	178.78	178.86	179.01	180.00	181.04
給水原価 B	168.90	168.52	153.92	153.10	153.35	162.55	169.17
A - B	8.98	10.25	24.86	25.76	25.66	17.45	11.87

(2) 年度別事業量

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
期末給水戸数	3,581 戸	3,576 戸	3,606 戸	3,585 戸	3,581 戸	3,578 戸	3,568 戸
給水人口	9,513 人	9,484 人	9,419 人	9,278 人	9,164 人	9,071 人	8,894 人
計画給水人口	10,465 人	10,465 人	10,465 人	10,465 人	10,465 人	10,465 人	10,465 人
普及率	90.9 %	90.6 %	90.0 %	88.7 %	87.6 %	86.7 %	85.0 %
配水量	年間	1,130,794	1,100,282	1,011,788	945,716	933,590	906,048
	日平均	3,098	3,014	2,764	2,591	2,558	2,482
給水量 (有収水量)	年間	884,845	865,050	868,269	859,980	852,170	829,164
	日平均	2,424	2,370	2,372	2,356	2,334	2,272
一日最大配水量	3,506	3,439	3,808	3,017	3,088	3,028	2,974
期間有収水量率	78.2 %	78.6 %	85.8 %	90.9 %	91.3 %	91.5 %	90.3 %

(3) 各年度末における企業債未償還元金残高

単位：千円

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
未償還元金残高	526,439	488,362	449,025	408,383	366,389	322,995	278,151

(4) 各年度末(3/31)における営業未収金額

単位：円

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
未収金額	8,914,170	8,705,190	8,972,976	8,873,326	10,077,416	11,049,046	11,317,266

(5) 一般会計からの補助金

単位：千円

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
補助金額	0	0	0	0	0	0	0

(6) 現金預金保有高

単位：千円

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
現金預金保有高	208,778	239,528	233,055	265,864	286,234	282,822	226,572

(7) 剰余金

単位：千円

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
剰余金額	10,523	217,583	24,063	24,609	22,395	17,567	11,491